

(一社)静岡県山岳・スポーツライミング連盟

〒422-8076  
静岡市駿河区八幡3-1-17  
TEL(FAX)054-288-7512  
編集発行/総務委員会  
令和5年6月26日発行  
第43号

岳連  
ニュース

# 宝 永

URL: <http://www.shizuokam.com>

## 事業計画・予算を承認

### 令和5年度定時総会開催

令和5年度の定時総会が、5月13日静岡市の「あざれあ」で開催され、令和4年度の事業報告・会計決算報告、令和5年度の事業計画案・収支予算案、理事選任案が加盟団体代表者や個人会員の出席のもとで審議された。木ノ内会長から「昨年コロナ禍の影響はあったものの、夏山、秋山の登山教室や冬山講習会、スポーツフェスティバルなどの連盟主催行事はほとんど開催できた。クライミングでは、ユース女子で永嶋さんが全国大会での優勝、ユース世界選手権で2位、ジュニア男子



で鈴木さんが日本選手権3位など、本県選手の活躍が目立った1年であった。特に国体の本県女子の皇后杯4位は、スポーツクライミング競技が静岡県の競技得点に大きく貢献した。本年は、新型コロナが5類に位置付けられたが、感染対策を講じながら事業を進めていきたい。4月から静岡新聞に「山ある記」を毎週連盟傘下の団体で執筆することとなった。連盟として、山岳とともに、スポーツクライミングの普及振興を図ることに努めていきたい。」との挨拶があった。

【事業報告・決算報告】会長が総務関係、事務局長が競技・国際関係を説明し、指導遭対委員長の説明が行われた。コロナ禍の影響はあったが、当連盟の理事会、総会、スポーツフェスタ登山大会や写真展は予定通り開催し、岳連ニュースも4回発行できた。

指導関係では、指導者研修会を前年度未開催の分を令和4年5月に開催、また令和4年度分として令和5年1月に開催した。令和5年2月には3年ぶりに冬山講習会を開催できたが、コロナ禍ではテント幕営は実施できなかった。一般向け普及事業については、夏山教室、秋



山教室、雪山講習会ともに開催することができた。競技関係では、クライミングについては、栃木県で開催の国体で、少年女子がリード3位、ボルダリング2位と大活躍することができた。国際関係では説明会や訓練行い、本年4月からネパールヒマラヤで遠征登山中。

【事業計画案と収支予算案】事業計画では、登山教室として夏山は白山登山を予定し、事前登山として山伏を計画、秋山は鹿島槍ヶ岳を計画している。また、山岳コーチ1養成講習会を3名以上の参加で本県で開催したいとのこと。なお、関連する事項として、去る4月29日実施の国体静岡県予選会の結果に基づく本県代表選手の選考について会長より提案があり、了承された。収支予算については、その他前年度決算を参考に作成したが、会費の減や管理経費の増などで、全体としては4万7千円の赤字字を見込んでいます。

採決が行われ、事業計画案と収支予算案は異議なく承認された。【理事・監事の選任】理事・監事の変更について提案があり、採決の結果、選任案は異議なく承認された。【報告事項等】本年度のスポーツフェスティバル登山大会は静岡市山岳連盟が担当、11月19日に真富士山・竜爪山で開催、俵峰を起点に日帰りのコースを計画している。(鈴木雅春)

### 山ある記 静岡新聞 コラム

4月より、静岡新聞にアウトドアに特化したページが新設された。その中に、「山ある記」の連載コラムが設けられて、毎週1回(水曜日朝刊)、一年間の執筆を当連盟が担当することになった。加盟団体の協力を得て、会員がリレー形式で県内の山を紹介し、登山、山歩きの魅力、県内の自然の素晴らしさを発信していく予定である。

長期間の企画ですが、協力をお願いします。

# 国体・ブロック大会選手決まる 特別国体静岡県予選会

本年度の特別国体（鹿児島県）の予選会が28名（内ユース8名含む）の参加を得て、4月29日に午前中にサニーロック富士でボルダリング競技、午後にはブルーキャニオンに移動してリード競技が行われました。種別は成年男女、少年男女、ユース男女であるが、成年女子のエントリーは零であり、残念ながら、東海ブロック大会出場の権利を失った。



ボルダリングは4課題のベルトコンベア式で行われ、まず、少年・ユース女子は、永嶋さんが世界ユース2位の實力をみ



せ、全完登で1位、続いて2完登3位の伊藤さんが続いた。少年・ユース男子は、3完登したユースの2名（宮川君、川口君）と船越君が1位から3位につけた。成年男子は、強いフィジカルが要求された第二課題を落とし、全完登した鈴木音生さんが1位となった。午後のリード競技は、完登が複数出た種別はファイナルを行うという説明のあと、男子と女子が同時進行で行われた。男子は、メイン壁の右下からダイレクトに抜けるルートで12c d。グレード的

成年男子	1位	鈴木音生	静岡県立大学
	2位	原 賢伸	pump
	3位	池田鋼史	東海大学
少年男子	1位	船越琉生	静岡長田南中
	2位	堀岡隼人	静岡東高
	3位	鈴木大翔	藤枝西高
少年女子	1位	永嶋美智華	静岡西高
	2位	狩野 凧	浜松天竜中
	3位	伊藤未唄	焼津豊田中
ユース男子	1位	宮川幸大	清水第一中
	2位	川口太造	静岡翔洋中等部
	3位	矢澤脩汰	静岡東中
ユース女子	1位	込山虹来	静岡籠上中
	2位	山本唯菜	静岡城山中

にも成年の2名と少年・ユース男子の6名が完登しファイナルに進んだ。女子は、ルーフを下から超えていく13abのルートで、やはり永嶋さんが切れのある登りで最高到達点40+をマークし完全優勝となった。2位には、35+の狩野さんが入った。男子ファイナルは、ルーフ下をトラバース気味に大きな動きで進み、上部の厳しい部分に入る13cdのルートで少年・ユースは30で船越君が1位、それに宮川君と堀岡君が続いた。最後に登場した鈴木音生さんは本年度リード

クライミングコンテストは本年度よりリード3戦（9月、11月、2月）、ボルダリング1戦（3月、1月のボルダリング大会を合わせると2戦）となり、その初めて実施されるボルダリングのクライミングコンテストとなりました。予選は男女共通の12課題のセッション方式で、男子は

ドジャパンカップ2位の實力を遺憾なく発揮し、終了点を取りに行きフォー。会場を大いに盛り上げた。成男1・2位の選手は本国体へ、少年男女1・2位の選手は東海ブロック大会に出場が決まりました。（諸戸明）

## 男子船越 女子永嶋 優勝 クライミングコンテスト3月大会

両会場を設定していた市木さんをはじめ運営に関わっていたたくさんの方々に感謝申し上げます。また選手の今後の健闘と活躍を期待したいと思います。大会会長表彰選手（1位〜3位）は表の通り。（諸戸明）

11完登の5名を含め6人までが決勝に進出しました。女子は、11完登の永嶋さんを筆頭に8完登まで6名が決勝に駒を進めました。決勝は、男女別の5課題のベルトコンベア方式でおこなわれ、厳しい課題設定の中、船越君が唯一12完登で優勝、2位、3位には1完登の川口君、宮川君が入った。女子は唯一13完登を果たした永嶋さんが優勝、2完登には3人が並んだが、アテンプト数で2位の伊藤さんが、3位に狩野さんが入った。上位の選手だけではなく、予選では、多くの選手が楽しめるような課題設定をしていた

男 子			女 子		
1位	船越琉生	静岡市立長田南中	1位	永嶋美智華	静岡西高
2位	川口太造	静岡翔洋高中等部	2位	伊藤未唄	焼津市立豊田中
3位	宮川幸大	静岡市立清水第一中	3位	狩野 凧	浜松市立天竜中
4位	堀岡隼人	静岡東高	4位	鈴木結菜	静岡農業高
5位	仁科煌生	静岡農業高	5位	堀内優里	藤枝市立大洲中
5位	鈴木大翔	藤枝西高	6位	水口希彩	富士市立大洲中

上位は以下の通り。  
男子 1位 船越琉生  
2位 川口太造 3位 宮川幸大  
女子 1位 永嶋美智華  
2位 伊藤未唄 3位 狩野 凧  
（諸戸明）

# 男子沼津東 女子富士 全国大会へ 静岡県高校総体登山競技

5月27、28日、第71回静岡県高等学校総合体育大会登山競技が梶原山及び竜爪山で行われた。男子15チーム、女子11チームが全国大会及び東海総体への出場権をかけて熱い戦いを繰り広げた。

1日目のコースは、雪平公園を出発し梶原山を経て柏尾峠まで向かう。2日目のコースは平山公園から則沢方面に行き林道末端から文殊岳、薬師岳を経て穂積神社まで向かう。2日目の林道末端では熱中症対策として大会運営側からスポーツドリンクを配布し10分間の強制休憩をとることとし



た。今大会は行動(体力・歩行)、生活(装備・服装・設営、炊事)、知識(天気図・課題テスト・読図・植生・計画書・記録書)、態度(マナー)を審査した。新型コロナウイルス感染症の影響でここ数年、審査を縮小してきたが、本年度は全ての審査項目を実施することができた。

両日とも暑さの影響で体調を崩す生徒がおり、隊離脱をする選手が出た。男子の所要時間の最高タイムは、1日目は静岡高校の1時間6分7秒、2日目は富士高校の2時間12分21秒であった。静岡高校は2日目も好タイムで到着しトップとの所要時間の差が84秒であった。女子の最高タイムは両日とも富士高校で1日目は1時間12分36秒、2日目が2時間27分16秒で1日目は浜松日体高校に107秒差と迫られる。しかし、2日目は2位チームを大きく引き離す好タイムであった。



競技の結果、男子は沼津東高校が初優勝、女子は富士高校が2年連続5回目の優勝を果たした。

例年の上位入賞校の傾向を見ると体力審査の得点が順位に影響していた。しかし、今大会は体力ではやや劣っていた沼津東高校男子が体力以外の審査項目において高得点をマークしたことが勝因と

## スノーシューで雪道を楽しむ

### 雪山を楽しもう！In 富士見台

2月26日晴天の下、令和4年度の雪山を楽しむ会を開催した。参加者は12名 講師2名合計14名は9時に集合、ゴンドラに分乗してスキー場に登

言える。したがって、0.1点差の僅差で優勝を果たした。富士高校女子は3年生1名、2年生3名のチーム編成であったが体力点を稼ぎ、2位チームと0.3点差と僅差で優勝した。

男子は6位まで、女子は4位までが入賞で結果は下記のとおりである。

男子の部 ①沼津東 ②静岡 ③浜松日体 ④富士 ⑤富士宮西 ⑥藤枝

女子の部 ①富士 ②静岡 ③沼津東 ④浜松日体

1位は全国総体(北海道旭川市・十勝岳・黒岳・旭岳)、2位、3位は東海総体(静岡県県御殿場市・金時山・富士箱根トレイル)へ出場。(鈴木重幸)

る。このスキー場はゴンドラで登った場所にゲレンデが有る。少し歩いてリフトに乗る。代金は年齢別に細かく分類されているのでスノーシューで

富士見台へ行く事と年齢を伝えると適正価格でリフト券を購入出来る。リフト終点から1段登った所に展望台があり、ここで南アルプスの眺望を楽しむながら全員集合した。林道にトレースが有りラクチンなので林道コースを進む、積雪は少なくスノーシューは着けずに進む。神成峠 萬岳荘までは下り登り下り登りでほとんど高度が稼げない。萬岳荘は冬用のトイレが使える。(100円入れましょう。)ここからは



すると神坂小屋に着く。小屋は2軒並んで有り、避難小屋として開放されている。先には富士見台山頂が見えて、登ると中央アルプスも見えてくる。360度の眺望で幸運だった。富士見台と言う名前から富士山が見えるだろうと東の方を探すが見つからない。風が辛いから先程の神坂小屋に戻って昼食にする。



小林久二彦

### 第5回理事会

日時 令和5年3月13日(月) 18時30分～19時30分

会場 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」5階

出席者 理事18名中15名  
監事2名中1名

理事 木ノ内高嘉、鈴木重幸、前川朝夫、滝田博之、堀内修、小林久二彦、増田浩二、出利葉義次、大石幸男、鈴木雅春、中川清、内海廣治、加藤敏美、岩田幸裕、諸戸明

監事 塩澤寿雄  
挨拶 木ノ内高嘉会長

全国理事長会議が2月12日に東京で対面とリモートで開催された。各県、下記のような問題や課題を抱えている。

- ・加盟団体の減少
- ・役員の高齢化
- ・各部門と登山部門の人的及び予算的なアンバランス

定時総会が5月13日に開催されるが、各委員会で準備をお願いしたい。

#### (1)各委員会の報告

- a 指導・遭難対策委員会
  - ・1月29日に指導者研修

会を行い、21名が出席した。

- ・2月5日に冬山登山講習会が行われた。新型コロナウイルス感染症対策として日帰りで行われた。参加者は83名が参加した。
- ・「雪山を楽しむ講習会富士見台」は2月16日の座学、2月26日の実技が行われた。参加者12名。指導者は2名であった。

#### b 競技委員会

- ・クライミングコンテストが2月11日浜松スクエアで開催され、男子22名、女子16名が参加した。
- ・国際委員会
  - ・ネパールのナヤカン(五八四四m)への遠征を、令和5年4月29日(土)～5月17日(水)の19日間で実施する。

#### (2)令和5年度事業計画

- a 指導・遭難対策委員会
  - ・初級及び中級山岳レスキュー講習会をまとめて実施する予定である。
  - ・山岳コーチー養成講習会は3名以上で実施する。
  - ・登攀講習会が11月4日、5日に立岩で実施される。
  - ・登山教室は春山、夏山、冬山を実施する予定である。

- ・国体静岡県予選が令和5年4月29日に実施される。リードは、ブルーキャニオン富士、ボルダは、サニールロック富士で実施。
- (3)令和5年度予算
  - ・事業の見直しなどで赤字解消の調整が必要である。

- ・カレンダーでの補填は単価が高く、部数がさばけない。世界の名峰を作成しているが、検討したい。
- (4)令和5年度スポーツフェスティバルについて
  - ・静岡地区が担当。市内を会場とし日帰りのみを検討している。日程未定。

#### (5)「山の日」の行事

- ・「南アルプス写真展」と「スポーツフェスティバル」を実施する。

#### (6)令和5年度通常総会

- ・5月13日午後1時30分「あざれあ」で開催。

#### (7)令和5年度理事等役員承諾書

- を4月11日の理事会で記入していただく。

#### (8)その他

- ・「島田しらびそ山の会」から退会届が届いた。
- ・クリモが小学生対象のボルダリング大会を実施したいと申し出があり、

### 第6回理事会

日時 令和5年4月17日(月) 18時30分～19時40分

会場 静岡県男女共同参画センター あざれあ 5F 第五会議室

出席者 木ノ内高嘉、鈴木重幸、前川朝夫、滝田博之、堀内修、小林久二彦、望月喜久治、増田浩二、出利葉義次、大石幸男、鈴木修、鈴木雅春、中川清(代理)、内海廣治、岩田幸裕、諸戸明16名

監事 塩澤寿雄  
挨拶 木ノ内会長

静岡新聞で「山ある記」のコラム連載が5スタートした。山岳スポーツクライミング連盟傘下の団体というのを重ねて明記されるよう依頼した。

所属山岳会の名前が出ることで、各会のPRにも繋がると思う。1年の長丁場をよろしく願います。

県岳連主催の公式大会とし、運営はジムが行う。岳連の主催となるよう検討が必要である。(鈴木重幸)

議長 木ノ内会長が議長となり議事進行。

#### 1. 報告・協議事項

- (1)各委員会の報告
  - a 競技委員会
    - ・21に富士サニールロックで、3/4回目のクライミングコンテストを実施。

#### (2)各委員会の事業計画

- a 指導・遭難対策委員会
  - ・6月18日山岳レスキュー講習会を労政会館で開催、中級と初級を内容を分けて同日に実施する。

- ・山岳コーチー養成講習会を本県で開催する。若手会員の受講を勧めてほしい。
- ・JMSCA事業の登攀技術講習会を11月4・5日で本県で開催。豊橋の立岩が使用禁止となったため他会場を検討中。

#### b 競技委員会

- ・国体県予選会を4月29日に富士サニールロックとブルーキャニオンで開催。現在募集中。

#### (3)令和5年度通常総会

- ・総会での役割について確認(司会、開会の辞、議案の説明)
- ・上程する議案の記載内容の修正箇所等について確認を行った

・令和5年度収支予算は、現在の見込は9万7千円の赤字が見込まれている。

・事務局から「山ある記」原稿料のうち千円を事務手数料とする案が提案された。採決をした結果、賛成多数。5万円を予算に追加する。

・理事・監事の選任議案があるが、定款上は理事選任後に理事会を開催して、会長・副会長を選ぶこととなっているが、議案では役員案を記載している扱い。

#### (4)スポーツフェスティバルについて

- ・静岡市岳連が担当で、竜爪山を予定、平山コース・牛妻コースに加え、テント泊の俵峰コースを考えている。総会時には、日程と会場の発表を行う。

#### (5)山の日の行事

- ・南アルプス写真展とスポーツフェスティバルとする。

#### (6)その他

- ・島田しらびそ山の会と静岡EPCクラブが退会、新たに島田山の仲間、出利葉理事が立ち上げる山岳会が加入

(鈴木雅春)